

CIP Newsletter

ニュージーランド国際交流員のニュースレター1月号

ニュージーランドの お正月

先月ニュージーランドのクリスマス文化を紹介いたしましたが、今回はニュージーランドのお正月について話したいと思っています。

長く休みたいでしょう？
年末になるとニュージーランド人はかなり長い休みを取ります！人によりますが、大学生は10月末から2月末までが休みで、社会人も年末に2-3週間を休みます。私がニュージーランドで働いていた時は、12月20から1月15まで休みを貰いました。日本ではありえない長さでしょ！



お正月と言えば、家族と一緒に過ごして新年を迎えることが日本では普通ですよ。しかし、ニュージーランドでは家族とじゃなく、友達と過ごすことが多いです。誰かの家でパーティーをして、酒を飲んだり、ゲームしたり、花火やBBQをすることが普通です。それがパブやクラブに行って飲むことも多いです。先月のニュースレターでも書きましたが、ニュージーランド人はお正月というよりクリスマスの方が家族と過ごすのを大切に考えています。

また、大学生や若者の休みが長いため、フェスティバルに行く人が多いです。フェスティバルは様々な地域で3日間ぐらい行われるので、大勢の友達とキャンプ場や誰かの別荘に泊まって、池で水上スポーツをしたり、ライブを見に行ったりします。



12:00

知らない人とキスしよう！
海外では皆さんがよくニューイヤーキスをします。12時になる瞬間に恋人がいなくても、近くに誰かを探してキスする文化があります。12時にキスをすれば運が良くなると言われますが、本当に良くなるのか皆ただキスしたいだけなのかわかりません。



ニュージーランドにはない文化

日本のお正月はニュージーランドにない文化がたくさんあります。例えば、神社参り、おせち料理、年越し蕎麦、お年玉などです。ニュージーランドには、毎年このように決まってる文化がありません。また、ニュージーランドの住民は約5割がキリスト教なので、日本の正月文化を知っている人は少ないと思います。

初めての日本のお正月は19歳でした。その時までのお正月と全く違う感覚でした。やっぱり、家族と過ごすのもすごく楽しいし、神社に行くのも貴重なことだと気付きました。今年は愛知県にいる親戚と新年を迎えます。コロナのため、約3年も会えてないので、今年のお正月が楽しみです。

最近何してるの？

カフェ巡り

おしゃれなインテリアやカフェご飯が好きなので、最近、佐原周辺のカフェを巡ってます。まだ、行ってない所も多いですが、諏訪下カフェ、丘の上のシェリーとTAWARAに行ってみました。県内や東京でもおすすめのカフェがあったら、教えてください。



ウィンターイルミネーション

現在、水郷佐原あやめパークで「ウィンターイルミネーション」が行われています。始まる前に観光班の皆さんと飾り作業を手伝いに行きました。思ったより楽しい体験で、皆さんともっと仲良くできました。皆さんも時間があれば、是非観光班が飾った桜の部分を見に行ってみてください。



紅葉

今年は初めての日本の紅葉でした。東京、成田、香取市内でも、色々な紅葉を見に行きました。ニュージーランドの紅葉は全然綺麗じゃないので、見れてよかったなと思いました。来年も他の地域で紅葉を見るのも楽しみです。



日本の実家に帰りました

12月に4年ぶりに旭川に帰りました。久しぶりに祖母に会えて嬉しかったし、ちょうど行った時寒くなって、根雪になりました。最近「初恋」のドラマにはまっているので、旭川での撮影場所に行ってみました。また、温泉と旭山動物園に行って、旭川ラーメンも食べました。

Facebookも
フォローしてね！





タイのこと…聞いてみタイ?

タイ出身香取市国際交流員 ティ (ラタナウィモンチャイ チャヤンクン)



2023年
1月号

(ソーコーソーで幸せを) 君に届け。

外国人向けの初級日本語教科書には、単にこの文法、この単語を覚えなさいではなく、キャラクターや人物設定があり、ストーリー性もあって、楽しく勉強できるようにうまく工夫されています。さらに、日本文化や習慣のこともかなり取り入れられています。私も様々な日本のことを教科書から学びました。お正月に送る「年賀状」のこともそのひとつでした。

その後、日本に留学しに来てから日本語学校の先生や同級生と年賀状を送り合ったりしました。自分で絵を描いたり、消しゴムはんこを彫って年賀状にしたりもして、楽しかったです。

実はタイにも年賀状を送る習慣があります。それが「ソーコーソー」と呼ばれています。「ソーコーソー **ส.ค.ส.**」は「ソン・クワム・スック **ส่งความสุข**」の略で、「幸せを贈る」という意味です。ラマ第4世王様(1804~1868年)が外交の関係者らに新年あいさつカードを送ったのがタイの年賀状の起点だと言われています。当時はたった名刺サイズ一枚の紙だったそうです。



紙版画で印刷した龍の絵をパソコンで合成して作った2012年「辰年」の自作年賀状

日本の年賀状は一枚のはがきに表面が絵や写真とお祝い言葉で、裏面は差出人と送り先の名前と住所になっていますね。タイの場合は、二つ折りのカードを封筒に入れて送るのが一般的なやり方です。カードの表紙はきれいな絵になり、内側を開くとお祝い言葉やメッセージが書かれています。メッセージだけであったり、さらに絵があったり、たまには、飛び出す仕掛けがあるポップアップカードもあります。



よく見かける表紙デザインは宮殿、陶器、花
金や銀の箔押し印刷を利用することによって豪華さアップ!

お祝い言葉は普通にメッセージを書いたり、詩を書いたりします。書き方や文面は人それぞれですが、その中によく目にする文章が「三宝のご助力によりあなたとご家族が幸せでありますように」です。三宝は「仏・法・僧」を指し、仏教の影響があるのははっきりわかりますね。

インターネットの普及によって、年賀状の代わりに電子メールで「eカード」を送るのがはやりましたね。今はメッセージや写真を簡単に送れるLINEなどのSNSがあるから、タイでは元々年賀状を送る人が少ないのに、さらに少なくなりました。それでも、会社や企業によって取引先に実物の年賀状を送るところが未だに残っています。

費用もかかる、収納場所もとる、お返しも必要な少し面倒な面があるとはいえ、年賀状を送る習慣がなくなったらちょっと寂しいなと思います。たまに本物の年賀状をもらうとうれしい気持ちと同時に懐かしく感じます。これは若者が言う「エモい」ということなんでしょうね!



2011年「卯年」と2013年「巳年」の自作年賀状

それでは、遅くなりましたが、明けましておめでとうございます!今年もどうぞよろしくお祈りします。

สวัสดีปีใหม่!

サワディー・ピーマイ = あけましておめでとうございます
(こんにちは) (新年)

現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々との異文化交流、タイのことでなくても在日外国人としての意見交換やディスカッションなど、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができればうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

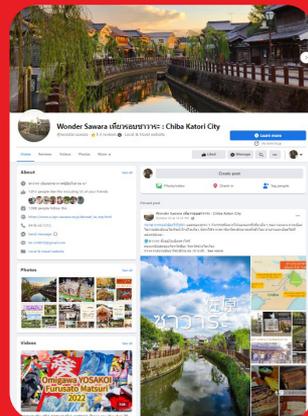
去年1月6日に雪が降った時の動画です
町並みと雪はとてもきれいでした
今年は雪が降りますかね



先月12月28日に行った
香取神宮の大祓の動画です



タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ「Wonder Sawara เที่ยวรอบซาวาระ : Chiba Katori City」にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付けるようにするので、ぜひのぞいてみてください～（フォローをしていたただけたらうれしいです！）



FBページ →
QRコード

または、フェイスブックアプリ
で「Wonder Sawara」を検索

プロタイ ラタナウィモンチャイ チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。ウェブデザイナーとして1年間勤めた後、語学のため2008年に初来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展する際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっかけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインバウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際交流員として勤めている。

